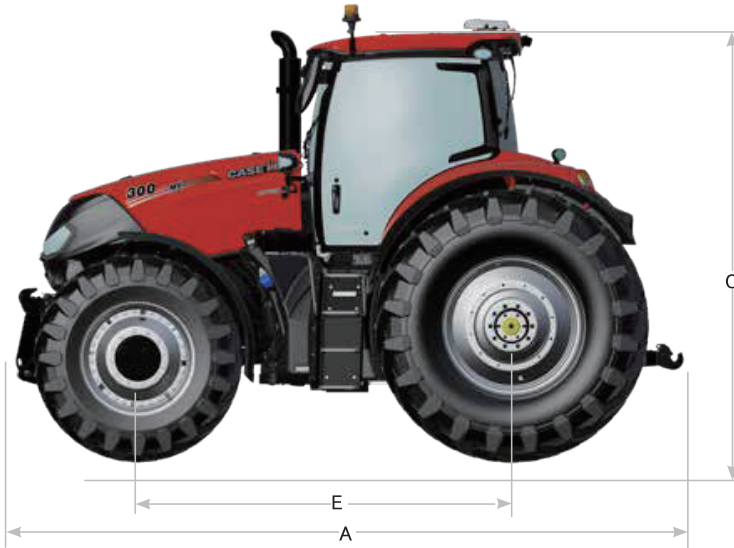


主要諸元

型式名			OPTUM300CVX
区分			
駆動方式			4輪駆動
機 体 寸 法	全長(mm)※A		5,825
	全幅(mm)[最小/最大※B]		2,536/2,993
	全高(mm)※C		3,457
	機体質量(重量)(kg)		11,530
	トレッド幅(mm)※D	フロント	1,858～2,258
リヤ		1,840～2,374 (パーアクスル)	
エ ン ジ ン	種類		水冷4サイクル6気筒ディーゼル
	総排気量(ℓ)		6.7
	定格出力/回転数(kW[PS]/rpm) (ECER 1201)		221[300]/2,100
	最高出力/回転数(kW[PS]/rpm) (ECER 1201)		230[313]/1,800
	使用燃料		ディーゼル軽油
	燃料タンク容量(ℓ)		630
	AdBlue®タンク容量(ℓ)		96
走 行 部	タイヤ(標準)	前輪	600/70R30
		後輪	710/70R42
	軸距(mm)※E		2,995
	クラッチ形式		湿式多板
	ブレーキ形式		油圧式湿式ディスク
	かじ取り方式		全油圧式パワーステアリング
	変速方式		無段変速
	変速段数(段)		前進無段/後進無段
	走行速度(km/h)	前進	0～34
		後進	0～15
PTO	フロント	回転速度(rpm)	1000/1000E
		エンジン回転数(rpm)	1,886/1,585
	リヤ	回転速度(rpm)	540/540E/1000/1000E
		エンジン回転数(rpm)	1,871/1,598/1,853/1,583
作業機昇降装置(リヤ)		制御方式	ポジション・ドラフト・ミックス制御
		装着方式	クローエンド3点リンク Ⅲ型
油圧揚力(kg)		フロント	6,016
		リヤ	11,058
外部油圧取出(連)			5



安全第一を願う三菱マヒンドラ農機です。CASEトラクタは保証書付です。
本製品ご使用前に必ず取扱説明書をお読みのうえ正しくお使いください。
作業時は正しい服装で安全確保を心がけましょう。

農機のお求め・ご相談は



www.mam.co.jp/

 三菱マヒンドラ農機

本 社／鳥根県松江市東出雲町揖屋667-1

Copyright © INTER TRACTOR SERVICE CO.,LTD.All Rights reserved.
CIH0622OCCV

●仕様は予告なく変更することがあります。●アタッチメント及びインプラメントは別売りです。●多彩なオプションを準備しています。
●カタログに掲載されている写真は、海外仕様のため一部日本仕様と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。



オプタムシリーズ

定格出力 最高出力
OPTUM300CVX 300HP 313HP

OPTUM AFS CONNECT™



THE OPTUM AFS CONNECT

MADE FOR THE REAL PRO
EVEN STRONGER. EVEN SMARTER. EVEN BETTER.
THE PERFECT TRACTOR FOR EVERY NEED

イントロダクション・エンジン	01-02
トランスミッション・LED 作業灯	03-04
内装	05-06
アームレスト・AFS PRO 1200	07-08
油圧・PTO	09-10
シャーシ・メンテナンス	11-12



次世代の効率へ

大規模作業を可能とする革新的な技術が搭載

OPTUM AFS CONNECT は、最大 313 馬力の強力でありながら効率的なエンジン、滑らかで耐久性の高い無段変速トランスミッション、コンパクトサイズ化により様々な作業への柔軟性を備えた OPTUM(オプタム) は、世界最高峰トラクターの新しい基準を打ち立てました。

私たちは、精密農業の未来へ重要な一歩を踏み出しています。



—自由を掴む為に得たもの—

一新されたキャビンと革新的なソフトウェアソリューション (AFS Connect Telematics) により、農場の管理者とオペレーターが様々な場所や位置関係であっても、トラクター、スマートフォン、タブレットまたは、パソコン間をワイヤレスで情報交換が可能な為、データに基づいた適切な判断を適切なタイミングで、どこからでも、どのデバイスからでも自由に行うことができるようになり、作業効率の向上を実現しました。

—次世代の革新的技術—

Bluetooth 機能を搭載した革新的な AFSPro1200 タッチスクリーンモニターを標準装備。AFSVision Pro コンセプトは、一新した OPTUM AFS CONNECT に標準搭載されています。最高の使いやすさと生産性を実現するため、世界中のユーザーと協力して開発されました。

型式	定格出力 (ECE R120) ¹⁾ 2,100rpm (kW/hp(CV))	最高出力 (ECE R120) ¹⁾ 1,800rpm (kW/hp(CV))	最大ポンプ容量 (l/min)	最大 油圧揚力 (kg)	ホイールベース (mm)
Optum 300 CVXDrive	221 / 300	230 / 313	220	11,058	2,995

¹⁾ ECE R120 は、ISO 14396 及び 97 / 68 / EC に対応します。

—毎日の作業のための高度な機能—

- CVXDrive 無段変速トランスミッション
- 電子式油圧リモートと強力な油圧ポンプ (220l / min)
- 4 速 PTO (540 / 540E / 1,000 / 1,000E)
- 電子パークロック標準装備
- キャブサスペンション標準装備
- フロントアクスルサスペンション標準装備
- AFSPro1200 タッチスクリーンモニター標準装備
- ヘッドランドマネージメントコントロール (HMC II) (オプション)
- AccuGuide ガイダンスレディ、AFSConnect テレマティクス



日々進歩するエンジン

高圧コモンレールインジェクションを備えた 6 気筒 6.7 リッター FPT エンジンは、フィールドワークと道路輸送ともに最適化するように開発しています。

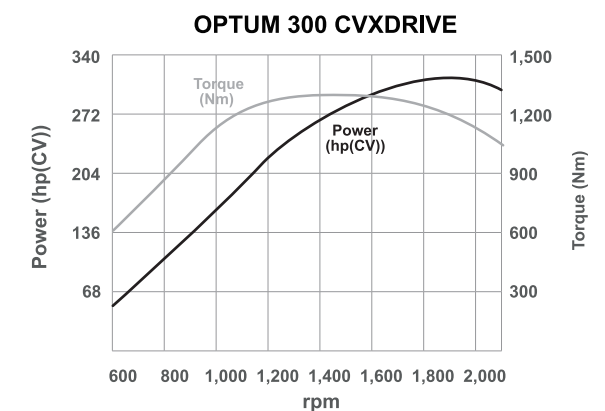
—あらゆる条件下に対応—

広く一定なパフォーマンス範囲と 40% の優れたトルク上昇により、最も過酷な状況でも簡単に移動できます。
Optum 300 のエンジンは、わずか 1,400rpm で 1,282 Nm のトルクを発生させ、燃料消費量を低く抑えます。

- FPT エンジンテクノロジーにより Euro StageV 排出基準を準拠
- 粒子フィルター (DPF) なしの Hi-eSCR2 排気ガス処理システム
- 冷却した排気ガスを戻す (EGR) 必要はありません
- eVGT ターボチャージャーにより、さらに速いエンジン応答とトルク増加を可能に
- APM と ECO Drive は、燃料消費量の削減に役立ちます
- 630 リットルの燃料タンクと 96 リットルの AdBlue タンク
- 750 時間のサービス間隔 (指定エンジンオイル使用時のみ)
- リバーシブルエコファンがラジエーターを綺麗に保つ

—パワフルターボ—

eVGT ターボチャージャーのブレードは、負荷とエンジン速度に応じて電子的に調整可能であり、最適なブースト圧が得られます。
また、同時に、最適化された燃焼により、低燃費でより大きなトルクが得られます。



高効率な無段変速を実現

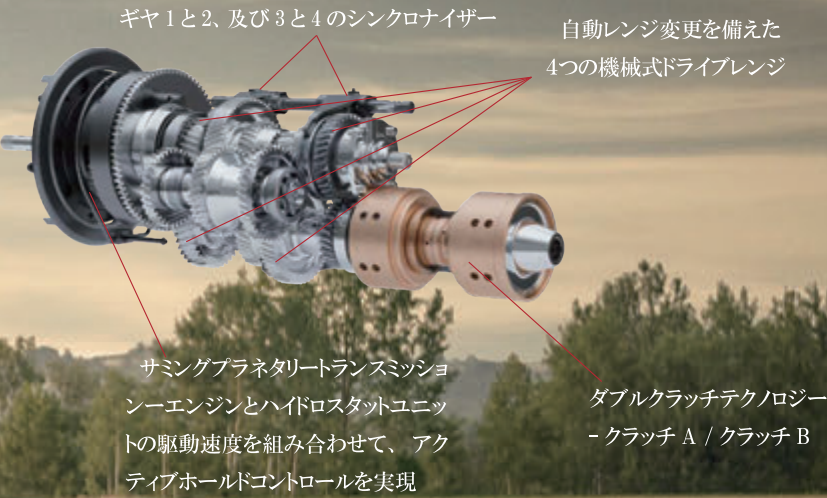
CVX Drive Transmission(無段変速トランスミッション)は、 操作をより簡単に、そして、滑らかに変速するように、 妥協することなく日々開発されています。

—APM による燃費向上—

APM は、最適なエンジン速度とギア比に応じてトラクターの速度を自動的に制御し、 燃費を向上させます。オペレーターはマルチコントローラーを動かすか、 フットスロットルを踏むだけで、APM が自動的に制御します。その上、さらなる燃費向上を実現させるため、最高速度は、わずかに 1,550rpm で到達し、 輸送作業に最適化しました。

—カスタマイズ可能なトランスミッション設定—

ケース IH のソフトウェアエンジニアは、よりスムーズで応答性の高い特性の一新した APM 制御機能により、CVXDrive の性能と操縦性を強化し、現場での稼働時間を増やしました。オペレーターは、AFS Pro 1200 ディスプレイを介して、3 段階に事前に登録されている設定から選択するか、必要に応じて設定をカスタマイズできます。



360° LED ライトパッケージ

最大 22 個の LED ライトが周囲 360 度を照らし、 暗闇の中でも優れた視認性を発揮します。

また、エンジン停止後に LED ライトが一定時間自動点灯することにより、家までの帰り道など足元を明るく照らし、 不慮の事故等を防ぎます。





上質な乗り心地・快適性を追及

十二分に大きな室内空間により、ストレスを感じることなく快適に過ごせます。

広くて豪華な、オペレーターの為に設計されたキャビンに座ってみてください。

高品質の素材を使用し、卓越した職人技と細部へのこだわりにより、最高レベルの快適さを実現しています。

スマートで実用的なストレージソリューション、新しい AFS Vision Pro オペレーティングシステム、高解像度モニター、最適化されたマルチコントローラーなどにより快適な空間を提供しています。

—A ピラーディスプレイ—

A ピラーに取り付けられた新設計のカラーディスプレイは、燃料タンクゲージ、AdBlue ゲージ、冷却水温度、トランスミッション、リアヒッチ、PTO 速度、車両速度に関する最も重要なデータの概要をオペレーターに示します。そのスリムなデザインは、フロントガラスやサイドウィンドウからの視界を遮らないように、A ピラーに目立たないように取り付けられています。



—静粛性—

騒音レベルは 66dB (A) と非常に低く、長時間の作業を楽しむことができます。

—快適な乗り心地—

Optum AFS Connect キャブサスペンションは、フィールドや道路走行でのスムーズで快適な乗り心地を提供します。

—優れた音響—

Optum AFS Connect は、4 つのスピーカーと強力なサブウーファーを搭載することで、優れた音響を提供します。トラクター以外では音楽を聴きたくなくなるかもしれません。

—より良い空調へ—

涼しくて雨の多い日にキャビン内の窓が曇らず、暑い日には快適に過ごせるように、エアコンダクトから排出する風がさらに改善されました。





新しい12インチAFSPRO1200モニター



設定可能なホットキー5～8

電気油圧式リモート（EHR）レバー

設定可能なホットキー1～4

マルチコントローラー

ターンアンドブレスエンコーダダイヤル

マルチコントローラーアームレスト

—わずかな動きでスマートに操作—

経営者と従業員は常にやるべきことがたくさんあります。だからこそ、私たちはあなたの日常の仕事をさらに楽にする方法を考え研究してきました。その結果、革新的なマルチコントローラーアームレストが実現することに至りました。ドライバーの変更や仕事の変更時に設定をすばやくリセットでき、一般的に使用される機能の95%をすぐに利用できるようになりました。多くの機能は、タッチスクリーンまたは新しいターンアンドブレスエンコーダダイヤルのいずれかを介して操作でき、同じくパーソナライズされた操作が可能です。

—あなたの指先で—

人間工学に基づいて開発されたマルチコントローラーは、再構成可能なトラクター機能を割り当てできるように再設計されました。アームレストに簡単に手が届き、フロントとリアのリモートバルブの制御、すべてのトランスミッション設定など、これまでにない多くの機能を備えています。



GPS 再生ボタン

シフト アップ / ダウン

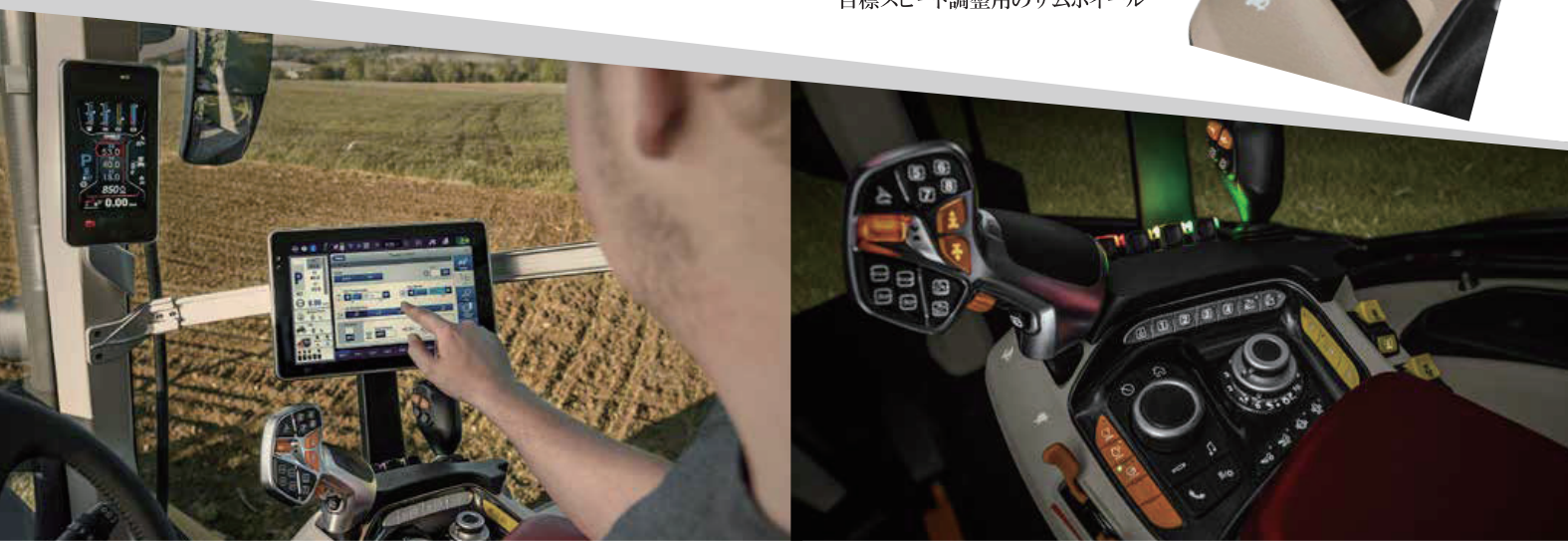
構成可能な油圧リモートバルブ

フロントとリアの3点リンク

目標スピード調整用のサムホイール

パワーシャトル

ヘッドランドコントロールマネジメント II (HMC II)



AFS PRO1200 タッチスクリーンモニター

高解像度オールラウンダー

高解像度のAFS Pro 1200は、スマートフォンと同じくらい使いやすいです。各ドライバーは、ニーズに合わせてサブメニューとショートカットオプションを構成および保存できます。



設定



AFS Pro 1200 モニターは、すべてのトラクター機能の概要を示します。油圧、PTO、エンジン、トランスミッションを簡単に最適化できます。トラクターの機能を完全に制御するには、CaseIH エンコーダーとショートカットキーを使用するだけです。

ビデオ入力



モニターは、最大4台のカメラからのライブビデオを表示できます。例えば、トレーラーやペーラーなどの大型器具の背面に取り付けることができるワイヤレスカメラも利用できます。これにより、大きな作業機でのバックアップがこれまでにない簡単になります。

HMCII



枕時の作業動作を自動化する革新的な枕地管理システム HMCII が標準で含まれています。生産性を向上させるために、作業中にリアルタイムで、または AFS モニターにコマンドを入力することにより、作業動作を記録できます。枕地で貴重な時間を節約することにより、作業の効率向上へとつながります。

ISOBUS



ISOBUS は、最新のトラクター / 作業機インターフェースであり、機械の操作画面を AFSPRO1200 モニターに表示できます。別のモニターが必要なくなり、コストを節約できます。また、ISOBUS III を使用すると、作業機はトラクターのリモートバルブ、PTO、後部油圧の位置、速度などを制御できます。

カスタマイズ



AFS Pro 1200 モニターでは、100を超える機能から選択して、8つのキーに自由に割り当てることができます。ラジオの音量、エアコンのファン速度などを割り当てると簡単に操作できます。オペレーターは常に指先で理想的な操作を可能とします。

モニタリング



モニターは、パフォーマンス合計と毎日の統計も記録します。すべてのデータは、さらに分析するために、AFS Pro1200 モニターから MyCaseIH プラットフォームに直接送信されます。





—ハイパフォーマンス油圧システム—



油圧システムの心臓部は、220l / min の流量を可能とした大容量圧力流量ポンプです。後部に最大 5 つの電気油圧式リモートバルブと最大 3 つのミッドマウントリモートバルブを搭載可能で、油圧リターンバルブも搭載されています。

ロアリンケージは、11,058kg の信じられないほどの持ち上げ能力を備え、フロントリンケージは、6,016kg の持ち上げ能力を備えています。

パワービヨンド接続は、ロードセンシングコントローラーを備えた作業機に使用できます。トラクターには、圧力がかからないリターンラインも備わっています。オイル量 90l（標準）は、大きな油圧シリンダーでも十分な流量を供給できることを可能とします。



—必要なときに必要なパワーを正確に伝達—



Optum AFS Connect には、標準で 4 つのリア PTO 速度（540 / 540E / 1,000 / 1,000E）を採用しています。

ECO 設定は、1,600rpm の低いエンジン回転数で目標 PTO 回転数が達成され、燃料消費量を大幅に削減することで低燃費を実現。

フロント PTO（1,000 / 1,000E）に追加の ECO 速度を採用することでより低燃費を実現できます。

速度選択は、AFS Pro1200 モニターで可能になりました。

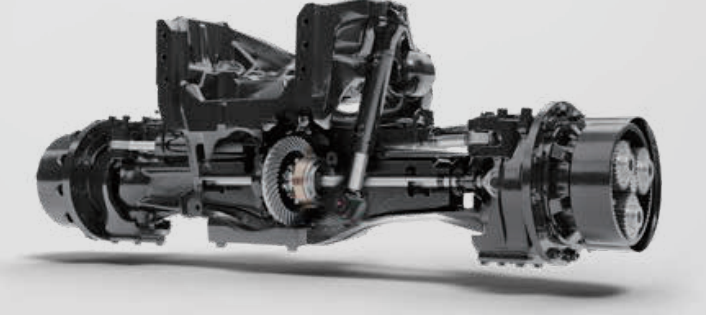
	PTO 回転	エンジン回転数 [rpm]
4速 リア PTO	540 / 540E / 1,000 / 1,000E	1,930 / 1,598 / 1,853 / 1,583
2速 フロント PTO	1,000 / 1,000E	1,886 / 1,585



あらゆる衝撃に対応

—完璧なグリップカー—

太さ 110mm のサスペンドフロントアクスルは複動式シリンダーで設計されており、路上での快適な乗り心地とフィールドでの最適なパワー伝達を実現します。より短い時間でより多くのことを成し遂げることが可能になります。



—トラクション性能—

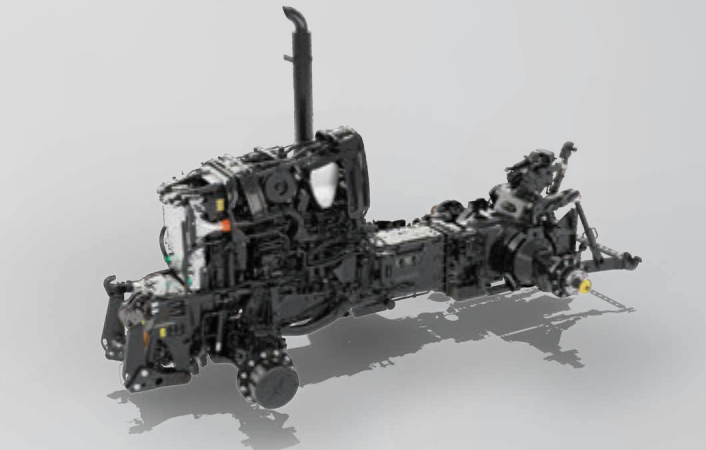
7.7m の小さな回転半径とオート4輪駆動およびオートディファレンシャルロックシステムにより、フィールドでの俊敏性が向上します。
タイヤのスリップが減少すると、作業効率がさらに向上し、合わせて燃料が節約されます。
4輪駆動とデフロックのアクティブ化と非アクティブ化のすべてのパラメーターは、AFS Pro1200 モニターから簡単に設定または調整できます。

—アクティブホールドコントロール—

無段変速機はアクティブホールドコントロールを備えており、クラッチやブレーキを使用せずに傾斜で停止および始動できます。ギア選択時に自動解除する電動パーキングブレーキも標準装備。

—素早く安定—

Optum AFS Connect のアクスルは社内で開発され、最も重い負荷に対応するように設計されています。エンジンは 270kg のフレームに取り付けられており、フロントリンケージとフロントアクスルキャリアによって発生する負荷を容易に受け止めます。
車両の総重量は 16,800kg で、そのうち 6,300kg が最大許容フロントアクスル荷重のため、Optum AFSCONnect はさらに用途が広がります。



- 安定した構造-最大許容総重量 16,800kg の増加により、高い積載量
- 最大許容フロントアクスル荷重 6,300kg
- 長い耐用年数の為 4 つの遊星歯車を備えた強化アクスルションを向上
- リアアクスルの 4 つの高性能ブレーキディスクが安全性を確保
- オート 4WD およびデフロック
- わずか 7.7m の回転半径
- フロントアクスルサスペンションは安定性とトラクションを向上

稼働時間を最大に

—メンテナンス性—

忙しい日々、あなたが望む最高なことは、トラクターの整備で時間を無駄にしないことです。OPTUM AFS CONNECT は、毎日のチェックと定期的なメンテナンスが簡単かつ迅速になります。例えば、ラジエーターパッケージは掃除が簡単な上、エアフィルターは点検及び清掃に便利な場所に取り付けられています。

—メンテナンスコストを最小限に—

OPTUM AFS CONNECT に搭載している メンテナンスフリーの HI-eSCR2 エンジンテクノロジーにより、作業を継続して行うことが可能になり、メンテナンスとサービスコストを最小限に抑えられます。
また、750 時間の長いエンジンオイル交換サイクル（指定エンジンオイル使用時）は、メンテナンス間隔を従来より空けることができ、サービスコストを削減することが可能となりました。

